

新穂

資料館 友の会だより

第六十号

山田武夫

夫妻遺作展

展示期間

令和7年5月24日（土）から

令和7年6月22日（土）まで

主催 新穂の歴史と民俗を考える会

山田武夫氏のコレクションを展示した第1回の企画展へのご来館ありがとうございました。コレクションのほんの一部を展示できただけです。今後、機会をあらためて追加のご紹介をする予定です。

さて、コレクション展では山田氏自身の作品について懐かしくお話しなさる方も多く、今回は氏の作品をできるだけ展示いたします。

残念ながら一部作品は、保管環境と経年により激しく傷んでしまったものもあります。それらについては展示を控えざるをえません。

展示いたします作品も劣化をとどめることは大変難しく、今回の展示を貴重な機会とお考えいただきたく思います。

また、山田氏の美術に関する関心は7歳の少年であった時から後見人として養育してくれた叔母山田りんさんによるものだと言った村の古老もいらつしやいます。今回は、りんさんの手によるものと思われる作品も展示します。現在は調査も難しくなった作品の背景などご存じの方は、どうぞご教示ください。

展示予定作品を一部ご紹介します

花器「野の仏」（昭和42年）

貼絵「島の石仏」（昭和45年）

日本画「愛憎」（昭和51年）

日本画「嫉妬」（昭和56年）

最後の作品。県展賞受賞

山田氏は昭和43年県展に焼き物「耐える」で初入選。昭和45年から昭和56年まで、連続して入選以上。「嫉妬」は県展賞であると同時に、健康上の理由から最後の作品となりました。

上田文先生が麦僊を語ります

令和7年度 市民大学講座

日時…9月9日（火）18時30分

会場…アミューズメント佐渡小ホール

上田文氏は関西学院大学の非常勤講師であり、土田麦僊研究の第一線で活躍されています。新穂にもたびたび足を運ばれてきました。どのような講演になるのか、今から楽しみです。

資料館友の会は共催団体として講演を支援することとしました。

（稲穂のつばやき）

柿の若葉が爽やかな浅緑に輝き始めた。日に日に開き、新芽はぐんぐん伸びていくだろう。何年かぶりに遅霜を受けなかった今年。たわたな秋を夢見ている。（若）

新穂歴史民俗資料館

0259（22）3117

※入館料 大人200円 小中学生100円

（ただし、佐渡市民で65歳以上の方は無料となります。確認できる運転免許証などをご用意ください。）

※月曜休館・入館は午後4時半まで

（月曜祝日の場合は翌日休館）

【令和7年5月9日 発行】